

一日も早い拉致被害者の救出にむけて!

政府主催 国際シンポジウム

— 拉致問題をはじめとする北朝鮮の人権侵害に対する
責任追及のための国際連携 —

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」関連行事

日時

平成28年 **12月10日** (土)
14:00~16:00 (13:00開場)

入場無料
事前申込が
必要です

場所

イイノホール
(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F)

主催

政府拉致問題対策本部、法務省

後援

文部科学省

同日
開催

北朝鮮向け短波ラジオ放送「ふるさとの風」「しおかぜ」共同公開収録
～希望の光、届け海を越えて!～

登録不要

日時：平成28年12月10日(土) 17:00 ~ 19:00 場所：イイノホール

主催：内閣官房拉致問題対策本部事務局・特定失踪者問題調査会

内容：警察音楽隊や有志による「拉致被害者救出を願うコンサート」ほか、北朝鮮向けラジオ放送とはどのようなものなのか解説します!

主催者より

北朝鮮による日本人の拉致の問題を解決するには、日本自身が主体的に声を上げ、率先して取り組まなければなりません。しかし、拉致問題に真摯に取り組もうともしない北朝鮮に問題解決に向けた具体的行動を促すには、拉致問題をはじめとする北朝鮮の人権侵害に対する非難と圧力を高めている国際社会と連携して対応していくことが重要です。こうした観点から、今回、朝鮮半島情勢や国連の人権プロセス等に関する内外の専門家を招いて国際シンポジウムを開催し、北朝鮮の人権侵害に対する責任追及に関する国際的な取り組みの現状と今後の国際連携のあり方について議論し、一日も早い拉致被害者の帰国の実現につなげていきたいと考えています。

国際シンポジウム

テーマ 北朝鮮の人権侵害に対する責任追及のための国際連携～一日も早い拉致被害者の救出にむけて～

プログラム(予定)

13:00 開場

14:00 開会

第1部 国際シンポジウム

(1)主催者挨拶(加藤勝信 拉致問題担当大臣)

(2)基調講演(マルズキ・ダルスマン氏)

(3)パネル・ディスカッション

<モデレーター> 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授(大阪大学 前副学長) 星野俊也氏

<パネリスト> 前国連北朝鮮人権状況特別報告者 マルズキ・ダルスマン氏

韓国外交部北朝鮮人権国際協力大使 イ・ジョンフン氏

元韓国国家戦略問題研究所首席研究委員 ヒョン・ソンイル氏

ICC被害者信託基金理事長 野口元郎氏

国連北朝鮮人権状況特別報告者 トマス・オヘア・キンタナ氏(ビデオ・メッセージ)



拉致問題担当大臣
加藤勝信



前国連北朝鮮人権状況
特別報告者
マルズキ・ダルスマン氏

第2部「ふるさとの風」ミニコンサート

16:00 閉会

申し込み方法

■ ホームページ、Eメール、FAXのいずれかでお申し込みください。

※事前に、Eメールにて「入場整理券」をお送りしますので、当日受付へお持ちください。

なお、申込受付は、先着順とし、定員に達し次第、締め切りますので、ご了承ください。

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」政府主催国際シンポジウム事務局

ホームページ ▶

<https://comm.stage.ac/abductees2016/jp/>

Eメール・FAX ▶

①ご所属、②ご氏名(ふりがな)、③電話番号、④Eメールアドレスまたはご住所、

⑤同伴者名(何人でも可。ふりがな付き)をご明記の上、

Eメール(rachi2016@stage.ac)または

FAX(03-5966-5773)までお送りください。

申し込み締め切り日 12月6日(火)

アクセス



東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結、丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分、銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分、有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分、JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分、都営地下鉄三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

拉致問題を含む北朝鮮による人権侵害問題についての国民の関心と認識を深めるため、毎年12月10日から16日までの1週間は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」として定められています。



詳しくは

<https://comm.stage.ac/abductees2016/jp/>

または

政府拉致問題

検索